

令和3年度

まちづくり推進部 雄物川地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 雄物川地域局
局長名	上法 満

1. 局の使命(ありたい姿)

地域の強みを発掘、育成し、地域に「元気」を創り出します

2. 局の抱える課題(現状)

- ・地域資源が少なく、地域を元気にする取り組みが不足
- ・少子高齢化に起因する地域づくりに関わる組織の弱体化、地域活動の担い手不足
- ・地域課題解決に積極的に関わりあおうとする職員の育成や気づきの機会創出

3. 今年度の『スローガン』

地域力の向上

4. 今年度の方針

- (1) 限りある地域資源の有効活用と賑わい創出
- (2) 地区会議や地区交流センター活動の支援と、地域づくりの推進
- (3) 地域の持続とサービスの向上のため行動できる職員・職場の実現

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	限りある地域資源の有効活用と賑わい創出
	取組内容	・中央公園、木戸五郎兵衛村や河川公園、鍛冶台いこいの森を有効活用し、地域の元気を創出する事業を推進します。
(2)	実現したい成果	地区会議や地区交流センター活動の支援と、地域づくりの推進
	取組内容	・地区会議、地区交流センター事業を柱とした地域づくり活動の推進、防災機能、共助組織の拠点機能の構築・充実を図ります。 ・地区担当職員の積極的な参加と、地域づくり活動補助金等の制度周知・支援に努め、地域コミュニティ醸成に貢献します。
(3)	実現したい成果	地域の持続とサービスの向上のため行動できる職員・職場の実現
	取組内容	・職員個々の業務・接遇スキルの向上に努め、市民に必要とされる、また親しまれる職場づくりを推進します。 ・職員個々が地域の強みや課題を把握し、市民に寄り添った施策の推進を図ります。 ・要支援者の把握に努め、関係機関と連携して市民の暮らしと安全安心を確保します。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

昨年度と同様に様々な事業や団体の総会、イベントが中止されている。

(1)

・8月8日に開催を予定していた商店街「ははは祭り」が中止、8月29日に中央公園を会場に予定していた「おもフェス」も中止になったが無観客での収録のみ実施(10月9日FM秋田で放送、YouTube配信予定)、など地域にとって大切な賑わい創出イベントが中止になった。一方、河川公園についてはコロナ禍とキャンプブームにより、土日は50台以上の車が来場し賑わっており、草刈り等徹底した管理を行っている。

(2)

・水防訓練や消防訓練大会など消防団関係事業が中止になる中、9月12日に「館合地区水害行動訓練」を地区住民、消防団員参加のもと計画したがこちらも中止となってしまった。
・各地区交流センターの会議等に出向き、地域づくり活動補助金等(特に「町内会等活動補助金」)の制度について説明し、活用を促している。

(3)

・地域課が中心となり、人材マネジメント部会参加職員に協力を依頼し、8月19日に職員研修会を開催した。
・避難行動要支援者名簿に基づいて、社会福祉協議会が行う個別計画策定に対し情報を提供し、未策定地域解消に向けて協力している。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1)

・2月15日、16日開催予定の「かまくらin木戸五郎兵衛村」について、関係課と連携し、観光客のおもてなしと地域の元気創出を推進する。

(2)

・地区交流センターでの防災講演会開催等への支援を行う。
・冬季に向け、地区交流センターとの連携により共助組織のサポートにあたる。

(3)

・課主催の研修会・勉強会を継続し、職員個々のスキルの向上を図る。
・避難行動要支援者名簿個別計画策定にあたり、社会福祉協議会への協力を継続する。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1)

・下期に予定されていた「かまくらin木戸五郎兵衛村」も中止となり、一年を通して地域のイベントは中止となった。しかしながら、中央公園、河川公園に新しい複合遊具が設置されたことや、キャンプブームの後押しもありコロナ禍にあっても利用者数は伸びた。(中央公園16,181人 前年比134%、河川公園15,037人 前年比104%)

(2)

・上期の館合地区水害行動訓練は中止になったが、下期には福地地区防災講演会を開催し、地区住民や消防団員など51名が参加した。内容も好評で、今後、他地区での開催も期待される。
・二つの共助組織に地域づくり活動補助金を交付し、運営についての支援を行った。
・里見地区交流センターでは昨年度から開催している「いどばた会議」を継続し、令和4年度にはその成果としてイベントの開催を予定している。

(3)

・地域課主催の地域局職員研修会は1回の開催にとどまった。
・精度の高い避難行動要支援者名簿作成のため、対象者に通知を発送し、回答の入力作業を行った。未回答者には個別に訪問し状況把握を行った。
・空家適正管理の依頼通知を送付するとともに相続人調査を実施。また、冬期間見守りが必要な家屋を巡回し、積雪の状況確認を行い、必要に応じ所有者へ対応をお願いした。